足利政氏館跡（久喜市）

築城年代：永正15年（1518年）、築城者：足利政氏

ここは甘棠院（かんとういん）/正面は惣門/左手に説明坂が見える

古河公方足利政氏が当地に移り住み館を寺とし、その子が開山したらしい/空堀がめぐらされ、土塁も一部残されているという/境内には足利政氏の墓がある

甘棠院

所在地　久喜市本町七―二―二八

甘棠院は、臨済宗円覚寺派に属する寺で、山号を永安山と称し、本尊は釈迦如来である。

古河公方足利成氏の子政氏が永正十六年（一五一九）当所に移り住み館を寺とした。開山は政氏の子（一説には弟とも言う）の貞巌和尚である。天文十七年（一五四八）火災のため堂宇を焼失しているが、翌十八年再建され、天正十九年（一五九一）には、徳川家康より寺領百石の朱印地を賜っている。現在の寺域はおよそ七千五百平方メートルで、空堀がめぐらされ、土塁も一部残されている。

境内には足利政氏の墓があり、高さ百十三センチメートルの五輪塔には「享禄四年（一五三一）七月十八日甘棠院殿吉山道長大禅定門」と刻まれており、館跡と共に県指定史跡になっている。

また、同寺には国指定重要文化財紙本着色伝貞巌和尚像がある。この画像には「月庵作源直朝」の落款があり、作者は戦国時代の幸手城主で、歌人でもあった一色直朝である。そのほか歴代住職の頂相や絹本着色足利政氏像、国認定重要美術品の十三仏版木と九曜菊散双雀鏡など貴重な文化財が所蔵されている。

昭和六十二年三月

久喜市教育委員会

「足利政氏公墓同館阯」とある

これは中門

永安山

前方の中雀門の向こうに足利政氏の墓があるようだ

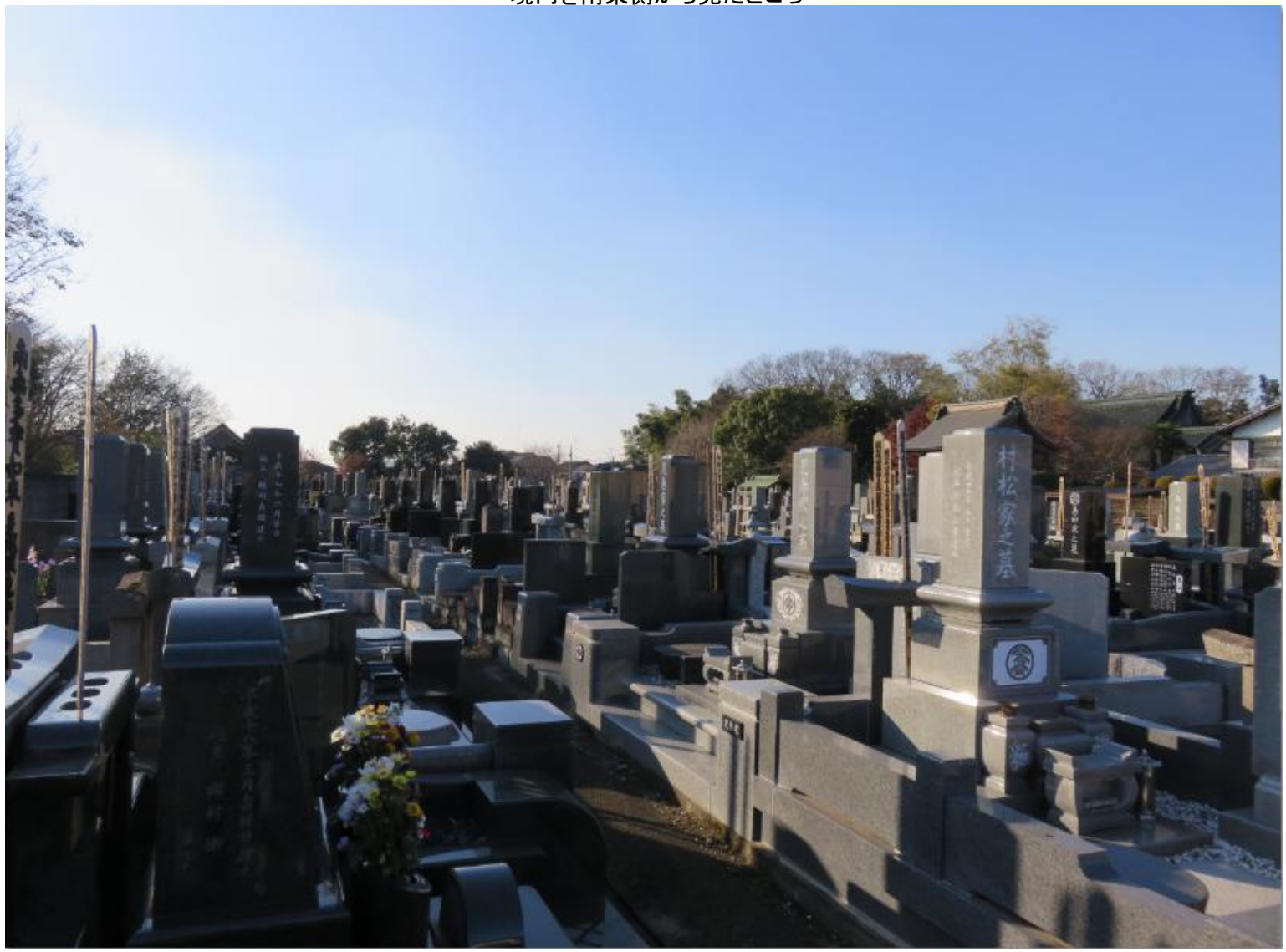
右手を見ると堀跡がある

こんな塩梅

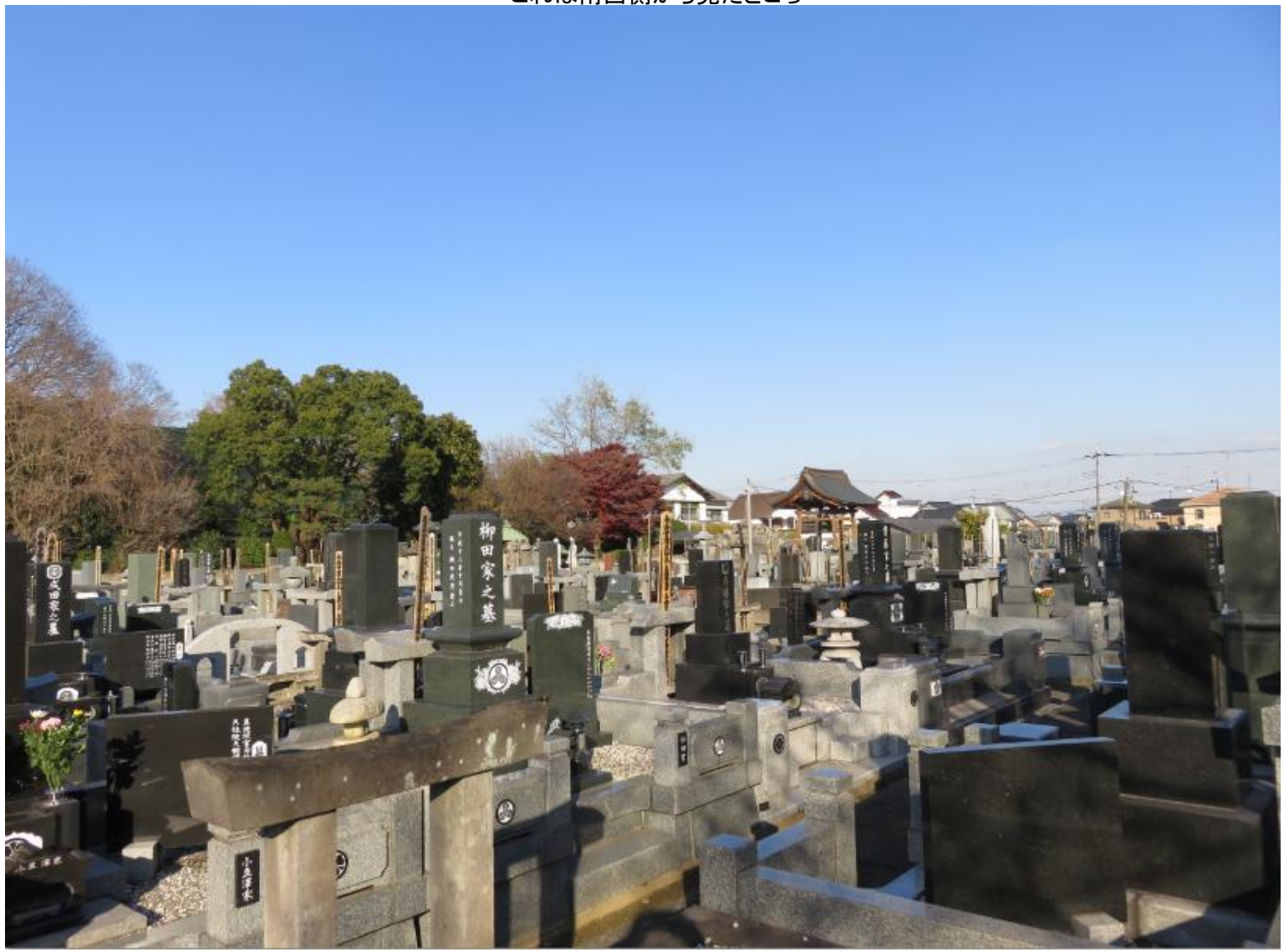
左手を見たところ

その先は右手に折れている

境内を南東側から見たところ



これは南西側から見たところ



そこで後に振り返ると土塁状になっている

その土塁上から東方向を見たところ

同じく北方向を見たところ

堀底に下りて東方向を見たところ

前方に進んで振り返って見たところ

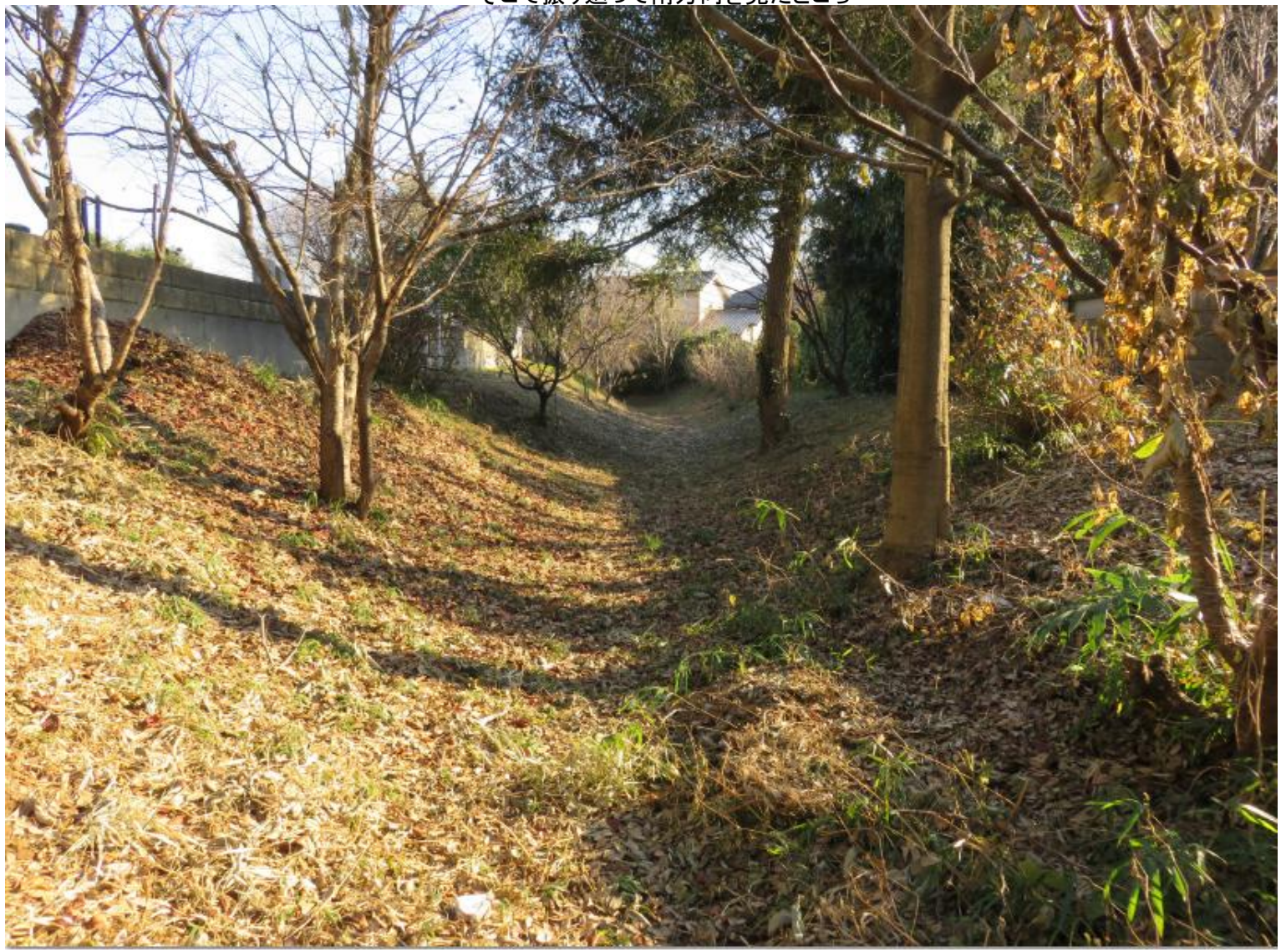
ここが空堀の南側から西側へのコーナー

西側の堀底で北方向を見たところ

その先に進んでみる

この先は金網が張ってあって立入禁止/空堀はその先で右手に折れているそうだが

そこで振り返って南方向を見たところ



これは境内の東側にある道路を南側から北方向に見たところで、ここは堀底が埋められて道路になっていることが見て取れる

そこで左手を見ると南側の空堀が延びて来ているが、この先は私有地になっており、ブロック塀越しに見てみよう

こんな塩梅で空堀はここで消滅している

さて、ここは甘棠院の北側にある史跡公園の西側入口

甘棠院史跡公園
所在地　久喜市本町7丁目960−3他
面　積　2,432.319㎡
この公園は、みなさんの大切な財産です。
楽しく利用できるよう次のことを守りましょう。
1. ゴミ類は、持ち帰りましょう。
2. 公園内で、犬などのペットを連れて散歩する場合には、放し飼いはやめましょう。また、フン等は飼い主が責任を持って処理しましょう。
(久喜市条例で禁止)
3. 花・木、その他の公園施設を大切にしましょう。
4. 公園内へのオートバイ、自動車の乗り入れは禁止します。
5. 公園内で、物品の販売、広告の掲示、火の使用等は禁止します。
6. 公園内で、他の利用者に迷惑をかけるような行為は、やめましょう。
久喜市公園緑地課
電話　0480(22)1111

この公園は甘棠院を取り巻く堀跡の一部らしい

右手を見たところ

甘棠院方向を見たところ/手前に説明坂がある

埼玉県指定史跡

足利政氏館跡及び堀

芝生が「　」の字の形に植えてありますが、これは平成十三年の試掘調査で発見された堀の位置を復元してあります

堀の南側は万年堀　東側はフェンスの先まで延びていたと思われます

幅は約三メートル　深さは約二メートルで、底は箱薬研の形をしています

また、万年堀の南側に残っている堀と平行に造られているところから館に関係すると考えられます

文化財は私たちの貴重な財産です

大切に守りましょう

平成十七年一月

久喜市

東側の入口から西方向に見たところ

少し退いて見たところ

更に退いて見たところ/左手が甘棠院方向

その左手はこんな感じで、空堀や土塁が残っているらしいが踏み込めない

さて、ここが中雀門/右手に説明坂が立っている

埼玉県指定史跡

足利政氏館跡及び墓

指定年月日　大正十四年三月三十一日

永安山甘棠院は、鎌倉にある臨済宗円覚寺派の寺院である。

甘棠院の総門を入ると、中門前面から寺院の西側及び北側に空堀がめぐらされ、北側には土塁も築かれている。

ここは、享徳の乱終息（文明十四年　一四八二）以後、古河公方になった足利政氏の館跡と伝えられている。

足利政氏の父成氏は、文安四年（一四四七）信濃より帰り、鎌倉公方となったが、関東管領山内上杉氏と抗争ののち古河（茨城県古河市）に移って古河公方と称し、伊豆の堀越公方・山内上杉氏・扇谷上杉氏との勢力争いをつづけた（享徳の乱）。

足利政氏は、その後、子高基・義明と不和となり、永正九年（一五一二）に小山（栃木県小山市）に移り、同十五年頃、ここ甘棠院に隠居したと伝えられる。

境内には「享禄四年七月十八日甘棠院殿吉山道長大禅定門」の銘を刻んだ足利政氏の五輪塔がある。

甘棠院の指定文化財

国指定重要文化財　紙本著色伝貞巌和尚像

国認定重要美術品　十三仏版木

国認定重要美術品　九曜菊散双雀鏡

県指定有形文化財　絹本着色足利政氏像

県指定有形文化財　縹糸威最上胴丸具足

県指定有形文化財　源氏車紋鞍（付障泥・鐙・轡）

県指定有形文化財　道憲作十文字鎗

（右の文化財は、県立博物館に寄託・寄贈）

文化財は、私たちの祖先の生活のあとを知る大切な財産です。境内の土塁・空堀をこわさないようにしましょう。境内の建物・竹・木を大切にしましょう。

平成三年三月二十五日

埼玉県教育委員会
久喜市教育委員会
甘棠院

中には入れないので隙間から見る/これが本堂

左手に廻ると正面前方に五輪塔が見える

アップで見たところ/これが足利政氏の墓のようだ

参考ホームページ

http://jyokakuzukan.la.coocan.jp/001saitama/287masauji/masauji.html

http://www65.tok2.com/home2/yogokun/masauji.htm

http://umoretakojo.jp/Shiro/Kantou/Saitama/Masauji/index.htm

http://kmiryoku.no.coocan.jp/ashikagatakauji.html

http://blog.goo.ne.jp/k-ono_002/e/74fe8c54aad35a80976a33eddd1cd22a

http://fanblogs.jp/shirononagori/archive/96/0

http://rover.seesaa.net/article/431547731.html

https://ameblo.jp/napo-jou/entry-11648041055.html

http://www.hb.pei.jp/shiro/musashi/ashikaga-masauji-yakata/

http://www5d.biglobe.ne.jp/~hatabo/meijyou/12_Saitama/ashikagamasauji/index.html

http://jp-castles.cocolog-nifty.com/blog/2012/09/post-1158.html

http://kazusanosukesengokusyoten.web.fc2.com/shiro/ashikagamasaujiyakata.htm

http://specialweek05291110.blog.fc2.com/blog-entry-2215.html

https://4travel.jp/travelogue/10128994